



みなさん夏野菜の定植はできましたか

今回は支柱立てについてお話をします。
 苗の定植も終え、株が育ってくると、つる性の野菜や実をつける野菜には支柱立ての作業が必要になってきます。
 しかし、どのような野菜に支柱が必要で、どのように支柱を立てればよいのでしょうか？そんな支柱の必要性や立て方のおさらいをしましょう。



営農経済課
藤井 拓也

お知らせです！

支柱立てはキュウリやゴーヤなどのウリ類、エンドウやインゲンなどのマメ類など、つる性の野菜や、トマト、ナス、ピーマンなどの実をつける野菜で行います。

つる性の野菜は、つるを這わせて生長を促進させ、そして実をつけた際にその重みで倒れてしまうことを防止する為、支柱が必要となってくるのです。

また、支柱を立てると株と株に、ある程度の距離が保たれ、密生防止と、病害虫の発生を抑止、防除がしやすいといった効果が見込めます。他には、つるや葉の間に空間を保ち、風通しや日当たりを良くしたりする役割もあります。

最後に支柱の立て方ですが支柱を土中に差すときは、支柱に体重をしっかりとかけ、ぐらつかないように30cm程度の深さまでしっかりと差し込んで下さい。また、苗を定植した場所や種を撒いた場所からは10~15cmほど離して支柱を立て、根を傷めないよう注意しましょう。

ゴアテックスワークスーツ サンステラII
「安全・快適作業」特別キャンペーン
キャンペーン期間:平成29年5月未まで

快適な作業を実現するサンステラIIの機能性

- ・素材の持つ透湿性が汗によるムレ、ベタつきを軽減
- ・雨を通さない高い防水性
- ・寒風・冷氣などの外気を通しにくい防風性と保温性
- ・繰り返しの洗濯にも、機能性を保持する耐久性
- ・反射マークを前後に貼付。高い視認性
- ・新構造のレインガーターで高い視認性



ゴアテックス
 お買い上げの方に
 ゴアキャップを
 進呈します！



JA特別価格 25,000円(税込)
 メーカー希望小売価格 34,236円(税込)

※価格は当時のものとなります。